

〈3〉 昆虫フェロモンを用いた防除資材

★主な誘引剤

アリモドキコール(MEP・スウィートビルア油剤、サンケイ化学)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
アリモドキ ゾウムシ	サツマイモ(アリモドキゾウムシ発生地域)	30～50 g/ha・5～6回、6×6×0.9cmのテックス板に1枚当たり10g吸収させて、発生地域に1ha当たり3～5枚定点配置する。
		80 g/ha・12回、4.5×4.5×0.9cmのテックス板に1枚当たり10g吸収させて、航空機により発生地域(森林、畑地等)に1ha当たり8枚投下する。

アリモドキコール粒剤(MEP・スウィートビルア粒剤、サンケイ化学)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
アリモドキ ゾウムシ	サツマイモ(アリモドキゾウムシ発生地域)	約10000粒/ha・発生地域に1㎡当たり1粒定点配置する。

ニトルアー<アメシロ>(フォールウェブルア剤、出光興産)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
アメリカシロ ヒトリ	樹木類・成虫発生初期～発生後期	直線使用(街路樹など)40m当たり1個以上・本剤をトラップ1台当たり1個貼り付け、地上1～6mの高さに設置する。
		面使用(公園など)10a当たり3個以上・本剤をトラップ1台当たり1個貼り付け、地上1～6mの高さに設置する。

フェロディンSL(リトルア剤、住友化学)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
ハスモンヨトウ 雄成虫	イモ類、豆類、アブラナ科野菜、レタス、ニンジン、ナス科野菜、イチゴ、ネギ類、マメ科牧草等(ハスモンヨトウ加害作物栽培地帯)・成虫発生初期～発生終期まで	2～4個/ha・トラップ1台当たり1個を取付けて配置する。取付けた薬剤は1.5～2ヶ月間隔で更新する。できるだけ広範囲な地域(10ha以上)で使用することが望ましい。

★主な交尾阻害剤

コナガコン(ダイアモルア剤、サンケイ化学)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
コナガ	コナガ、オオタバコガが加害する農作物等(露地、コナガ及びオオタバコガ加害作物栽培地帯)・加害作物栽培の全期間	100mリール:100~110m/10 a ・株上に沿い、作物上に支柱等を用いて固定する。 20cmチューブ:200本/10 a ・適当な長さの支柱等に取り付け、圃場に配置する。
オオタバコガ		
コナガ	コナガが加害する農作物等(ハウス、コナガ及びオオタバコガ加害作物栽培地帯)・加害作物栽培の全期間	100~400m/10 a (100mリール) ・ハウス内の天井に近い位置に固定する。

コナガコンープラス(アルミゲルア・ダイアモルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
コナガ	コナガ、オオタバコガ、ヨトウガが加害する農作物等(コナガ、オオタバコガ、ヨトウガの加害作物栽培地帯)・対象作物の栽培全期間	100~120本/10 a (22 g/100本製剤) ・作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し圃場に配置する。
オオタバコガ		
ヨトウガ		
コナガ	コナガ、オオタバコガが加害する農作物等(コナガ、オオタバコガの加害作物栽培地帯)・対象作物の栽培全期間	20~40m/10 a (55 g/50m製剤) ・支柱を立てロープ状の製剤を対象作物の上部に張り渡す。
オオタバコガ		

コンフューザーAA

(アリマルア・オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
キンモンホソガ	果樹類・成虫発生初期~終期	120~150本/10 a (52 g/100本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、又は巻き付け設置する。
ナシヒメシンクイ		
リンゴコカクモンハマキ		
リンゴモンハマキ		
モモシンクイガ		
ミダレカクモンハマキ		

コンフューザーR

(オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤R、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
リンゴコカクモンハマキ	果樹類・成虫発生初期~終期	100~120本/10 a (36 g/100本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、又は挟み込み設置する。
モモシンクイガ		
ナシヒメシンクイ		
ミダレカクモンハマキ		
リンゴモンハマキ		

コンフューザーN

(オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤N、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
モモシンクイガ	果樹類・成虫発生初期～終期	150～200本/10 a (52 g /200本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、又は挟み込み設置する。 * : 50～200本/10 a
ナシヒメシンクイ*		
リンゴコカクモンハマキ		
リンゴモンハマキ		
チャノコカクモンハマキ		
チャハマキ		
スモモヒメシンクイ	スモモ・成虫発生初期～終期	200本/10 a (52 g /200本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、又は挟み込み設置する。

コンフューザーMM

(オリフルア・トートリルア・ピーチフルア・ピリマルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
リンゴコカクモンハマキ	果樹類・成虫発生初期～終期	100～120本/10 a (55 g /100本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、又は巻き付け設置する。 * : 120本/10 a
モモハモグリガ		
モモシンクイガ		
ナシヒメシンクイ		
チャノコカクモンハマキ*		

コンフューザーV(アルミゲルア・ウワバルア・ダイアモルア・ビートアーミルア・リトルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
タマナギンウワバ	野菜類、花き類・観葉植物 ・対象作物の栽培全期間	100～200本/10 a (41 g /100本製剤) ・作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し圃場に配置する。 * : 100本/10 a
イラクサギンウワバ		
コナガ		
オオタバコガ		
ヨトウガ		
ハスモンヨトウ		
シロイチモジヨトウ*		

ハマキコンーN(トートリルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
リンゴコカクモンハマキ	果樹類・成虫発生初期～終期	100～150本/10 a (54 g/150本製剤) ・枝にかける。
ミダレカクモンハマキ		
リンゴモンハマキ		
チャハマキ		
チャノコカクモンハマキ		
チャハマキ	フェニックス・ロベレニー ・成虫発生初期～終期	100～150本/10 a (54 g/150本製剤) ・枝にかける。
チャノコカクモンハマキ	チャ・成虫発生初期～終期	150～250本/10 a (90 g/250本製剤) ・枝にかける。
チャハマキ		30～50m/10a(54g/30m製剤) ・ロープ状製剤の場合、支柱等を立て対象作物の上部に張り渡す。

シンクイコンーL(ピーチフルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
モモシンクイガ	果樹類・成虫発生初期～終期	100本/10 a (13g/100本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け設置する。

スカシバコンL(シナンセルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
コスカシバ	果樹類、サクラ・成虫発生初期～終期	40～100本/10 a (8 g/100本製剤) ・ディスペンサーを対象作物枝等に巻き付け設置する。 * : 100本/10 a
ヒメコスカシバ	カキ・成虫発生初期～終期	
キクビスカシバ*	キウイフルーツ・成虫発生初期～終期	

ヨトウコンーH(リトルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
ハスモンヨトウ	ハスモンヨトウが加害する農作物(ハスモンヨトウ加害作物栽培地帯)・成虫発生初期～終期まで	施設 : 20～200m/10 a (20cmチューブの場合100～1000本) ・施設内上部に固定する、又は枝等に巻き付ける。 露地 : 20～200m/10 a (20cmチューブの場合100～1000本) ・作物上に支柱等を用いて固定する。

ヨトウコン-S (ビートアーミリア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
シロイチモジヨトウ	シロイチモジヨトウが加害する農作物(シロイチモジヨトウの加害作物栽培地帯)・シロイチモジヨトウの発生初期～終期	露地：100～500本(20cmチューブ)/10 a ・作物上に支柱等を用いて固定する。 ハウス：100～140m(20cmチューブの場合500～700本)/10 a ・作物上に支柱等を用いて固定する。

ナシヒメコン(オリフルア剤87.5、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
ナシヒメシンクイ	果樹類・成虫発生初期～終期	50～100本/10 a (23 g/100本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、又は巻き付け設置する。
スモモチメシンクイ	スモモ・成虫発生初期～終期	

ボクトウコン-H(コッシンルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
ヒメボクトウ	果樹類・成虫発生初期～終期	100～150本/10 a (16 g/100本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、又は巻き付け設置する。

ヘタムシコン(マシニッサルア剤、信越化学工業)

適用害虫名	作物名(適用場所)・使用時期	使用量・使用方法
カキノヘタムシガ	カキ・成虫発生初期～終期	100～150本/10 a (9.3 g/100本製剤) ・ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、又は巻き付け設置する。